

桜のある水辺風景 2011



応募写真集



日本河川・流域再生ネットワーク

はじめに



昨年に引き続き、今年も「桜のある水辺風景 2011」写真募集を行ったところ、多くのご応募をいただき誠にありがとうございました。

今年も皆様のおかげで充実した作品集ができあがりました。それぞれの写真と添えられたメッセージから撮影者の思いがリアルに伝わってきます。

今年は3月はじめから募集を始めましたが、その矢先、3月11日に突然、東日本大震災に襲われました。日本が一変して、人々の気持ちも大きく変わりました。

しかし、自然の営みは不変であることを証明するように、桜は今年も変わらず美しい花を咲かせました。

掲載した写真からは、桜の花とともにどの川も、1年に一度、一生懸命に着飾り、お化粧をして、みんなを励ましてくれているようです。

最後になりましたが、今回の震災で被災された皆様や関係者の方々には心からのお見舞いと早期の復興をお祈り申し上げます。

佐合 純造

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局長
(財) リバーフロント整備センター 河川・海岸グループ長

企画趣旨

JRRN では、水辺の美しさや人々との関わりについて考えるきっかけづくりを目指して、2011年に撮影された「桜のある水辺写真」を JRRN 会員皆様より募集し、15 名の方々より素敵なお写真をご応募頂きました。

- テーマ： 「桜のある水辺風景 2011」 ※2011 年に撮影された写真限定
- 応募資格： JRRN 会員
- 作品規定：
 - ・応募は一人何点でも可能です。ただし応募作品は自ら撮影したものに限りです。
 - ・写真サイズはハガキサイズ程度の印刷でも鮮明なレベルとします。
 - ・個人が特定できる人物画像が含まれる場合は被写体の方の了承を得てください。
- 応募期間： 平成 23 年 3 月 1 日（火）～平成 23 年 5 月 31 日（火）

本冊子では、ご応募頂きました皆様のお写真を、頂きましたコメントと共にご紹介させていただきます。

ご応募頂きました順に作品をご紹介します。

※レイアウト上の都合から一部順序が前後しています。

応募作品



撮影◎稲葉修一 2011年2月 静岡県河津町・河津川

南伊豆の一足早い春の風物詩 その1

「河津川の川岸では早咲きの河津桜が2～3月に満開になります。このころの約1ヶ月間「河津桜まつり」が開催され、100万人を越す観光客が訪れ、屋台も連なり、たいへんな賑わいを見せます。川原では親子づれが石投げして遊び、南伊豆の一足早いのだかな春の訪れを感じます。



撮影◎稲葉修一 2011年2月 静岡県河津町・河津川

南伊豆の一足早い春の風物詩 その2

逆光でみた河津川の水の輝きと、散りゆく桜の花びら。人々の賑わいのなかでふっと見つけた静かな光景に、何気なく方丈記の序文を思い出してしまいました。



撮影◎森山英一

2011年4月 埼玉県入間市・荒川水系霞川

霞川さくら堤

撮影地点横に記念碑が建っておりました。

「戦後間もなくの霞川の洪水で、多くの人命や家屋を失った。地域住民の方々の協力を得て河川改修が完成した」との碑文です。

多分、そのときに植樹した桜が60年近く経過したものと思います。

その横には、母子の墓がポツンと並べてありました。

東関東大震災の津波でも多くの子どもさん達の人命が亡くなりました。

つくづく、治水の大切を感じた次第です。



撮影◎上原 励 2011 年 4 月 さいたま市・高沼導水路

私のまちの散歩道

高沼用水路は、見沼代用水から取水され、さいたま新都心の住宅地を流れる農業用水路です。撮影地は、与野東中学校の西側の歩道で、車が乗り入れることがないため、普段は小中学生の通学や、散歩やジョギングなどに利用されています。住宅地の中の隠れたお花見スポットです。

なお、撮影日は、小中学校の始業式の日であり、撮影時刻は、まさに入学式が行われていた時間帯であり、人通りはありませんでした。



撮影◎和田 彰 2011 年 4 月 新宿御苑・下の池

都会のオアシス・新宿御苑の早咲き桜

まだ街中のソメイヨシノが咲いていない 4 月頭に新宿御苑に足を運んだところ、早咲きのヤエベニシダレが満開でした。背後の高層ビル群とのコントラストについ魅力かれ、シャッターをたくさん切ってしまいました。



撮影◎高橋 達也

2011 年 4 月 埼玉県上尾市・鴨川

鴨川富士見親水公園の桜並木

市街地の中を流れる鴨川にあって、「富士見親水公園」は、自然の水辺を実感できる貴重な空間として、地域住民の憩いや春には桜のお花見ができる場所として親しまれています。

下屋敷跡に春を呼ぶ川

板橋区内の石神井川は、深い堀込みでコンクリート三面張り護岸となっていますが、千本を超える兩岸の桜並木は旧川敷の緑地も取り込んで、水と緑の景観軸を形成しています。加賀藩下屋敷跡に残る樹木に囲まれてのお花見はとても楽しそうです。



撮影◎岡村幸二

2011年4月 東京都板橋区・石神井川



撮影◎岡村幸二

2011年4月 東京都板橋区・旧中山道の“板橋”

板橋めぐれば街道宿

「板橋十景」にも選ばれている“板橋”は、旧中山道の仲宿とともに、江戸五街道の歴史を伝える景観資源であり、江戸名所図会にも登場しています。橋の下を流れる石神井川沿いの桜並木とともに、地域活性拠点となっています。

まちもサクラも元気に育て

荒川の下流部は都内で最も水面の広い河川。背割堤の高速道路とたくさんの橋や鉄塔がやや目障りではありますが、都会の喧噪をしばし忘れ、広々とした空を見上げられる気持ちのいい空間です。堤防や河川敷にはサイクリングや散策をする人たちが大勢行き交っています。

スーパー堤防として整備された小松川地区には、江戸川区により約2kmにわたって千本桜が植栽されました。赤い上着の子が大きくなる頃には、立派なサクラ並木が育っていることでしょう。あの親子連れにとって「忘れがたき ふるさと」の風景がここにあります。



撮影◎木村達司

2011年4月 東京都江戸川区・荒川

馬子にも衣装なんて言わないで

玉川通りを過ぎて暗渠から地上に姿を現した目黒川。せっかく顔を出したのに、川幅は狭く、川底は深く、流れは平板で、とても魅力ある河川とは言えません。

しかし、このサクラのトンネルは見事です。くすんだ感じのコンクリート護岸もこの季節はどこか誇らしげです。願わくはこの華やかな衣装に相応しい美しい流れを甦らせたいものです。



撮影◎木村達司

2011年4月 東京都目黒区・目黒川



撮影◎木村達司

2011年4月 東京都目黒区・目黒川

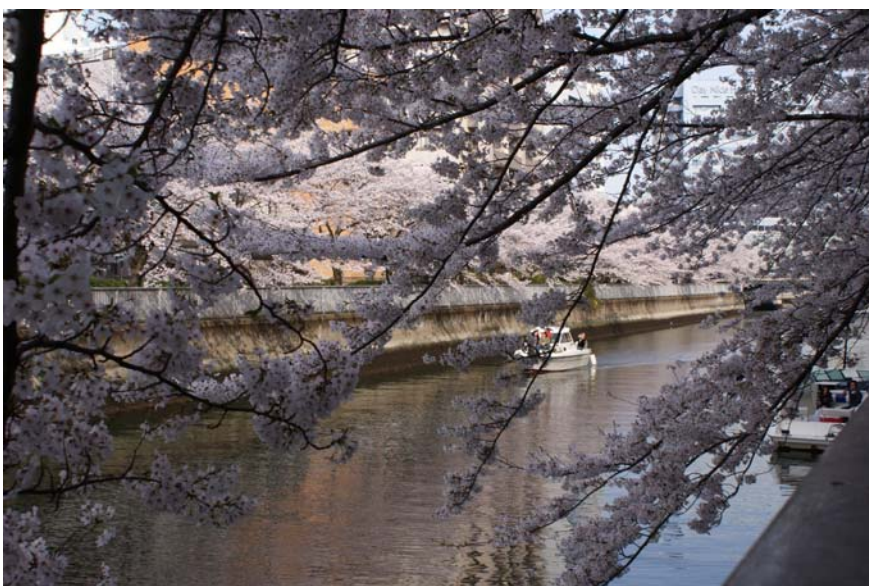
花も団子もひとりじめ

サクラ満開の目黒川下流部を小さな舟で遡上しました。川面には白い花びらがたくさん流れ、ところどころ敷き詰められたようになっていましたが、風雅な花筏も舟のエンジンにとっては必ずしも好ましくはないようです。

水面近くから見上げたサクラ並木は、背後の街並みや人々の喧噪を覆い隠し、まるでサクラを私たちだけでひとり占めしているような感じを味わうことが出来ました。もちろん、お団子も美味しかったですよ。

残された水網を大切に

江東区には江戸時代以降につくられた数多くの運河が縦横に走っていました。いまではその一部は埋め立てられたり、親水公園になったりしてしまい、現存する運河もコンクリート護岸の単調で殺風景な水辺景観を呈しています。大横川もそのひとつですが、春になると兩岸の散策路が数百mにわたってサクラの花に彩られます。白い花びらのトンネルからのぞくと、水上から花見を楽しむ家族連れらしき姿が見えました。大横川を埋め立てなくて良かったですね。



撮影◎木村達司

2011年4月 東京都江東区・大横川

神田川が一年で一番映える時

桜の名所の一つである江戸川公園から面影橋までを神田川沿いに歩きました。川沿いは人、そして川の中にもたくさんの鳥を見かけ、水辺は大混雑。かつての神田川の水質汚濁を思い起こせば、なお一層、この神田川の美しい姿に感動を覚えます。



撮影◎和田彰

2011 年 4 月 東京都文京区・神田川



撮影◎和田彰

2011 年 4 月 東京都文京区・神田川

川と桜の癒し相乗効果

この付近の神田川の桜並木は、豊島区の区制施行 50 周年記念事業として昭和 57 年に設けられたそうです。美しい水辺桜の癒し効果を測定できたら面白いだろうなあと感じつつ、じっと神田川を見つめる方々の表情がとても印象的でした。

目黒川の桜に囲まれて「がんばれ東日本」

目黒川に最初に桜が植樹されたのは昭和初期とのことです。果たしてこの桜は何代目ぐらいなのでしょう。とにかく川の兩岸から川を覆い包むように桜が咲く光景は圧巻で、中目黒が東京の桜の名所と言われる訳がよく分かりました。がんばれ東日本！



撮影◎和田彰

2011 年 4 月 東京都目黒区・目黒川

隅田川の桜 オフィス街の昼休み

堤防、テラス、緑に濁った水、高層マンション、見るもの全てが人工物で構成され、自然の欠片もない河川景観です。

それでも、お昼休みにサラリーマン達が潮の香る風に吹かれてほっと一息。そんな川もアリでしょう。



撮影◎I さん

2011 年 4 月 東京都中央区・隅田川



撮影◎I さん

2011 年 4 月 東京都中央区・隅田川

隅田川の桜 オフィス街の昼休み

オフィス街の昼休みに永代橋下流の隅田川右岸より佃島方面を撮影。

石川島播磨重工業の工場跡地に建てられた高層マンションを桜越しに望む。

竣工400年を迎えた 二ヶ領用水を彩る桜並木

2月27日に開催された「二ヶ領用水竣工400年記念シンポジウム」を聴講し、是非とも歩いてみたくなりました。川崎市が多摩川右岸に沿って上流方向に市域が広がった理由が解りました。7月23日から川崎市市民ミュージアムで、二ヶ領用水の企画展が開催されるようなので、出掛けてみようと思います。



撮影◎渡部秀之

2011 年 4 月 川崎市多摩区・二ヶ領用水

多摩川右岸（海から31k） スーパー堤防の桜並木

この日は、JR南武線登戸駅を出発地に多摩川の右岸堤防等を上流に向かって南多摩駅まで歩きました。稲城市に入ったあたりから幅の広い堤防上に桜が植えられ、国土交通省京浜河川事務所多摩出張所あたりまで、見事な桜並木が続いていました。



撮影◎渡部秀之

2011年4月 東京都稲城市・多摩川



撮影◎渡部秀之

2011年3月 東京都台東区・隅田川

隅田川と桜花と東京スカイツリーとを一枚に

3月27日、思っていたとおり撮影には時期尚早でした。東北大地震以降、気持ちが晴れない毎日で、桜の開花が待ち遠しい気分でした。わずかに咲いている桜と隅田川とスカイツリーを一枚に納められるアングルをやっと探して撮影しました。

多摩川の桜をバックに 愛娘の写真を撮るおとうさん・・・

桜をバックに写真を撮る親子の姿がほほえましく、思わずシャッターを切りました。桜並木と樋門の門柱がアングル内に納まり、多摩川河川敷の程好い賑わいの雰囲気を感じる写真が撮れた感じがするので、応募しました。



撮影◎渡部秀之

2011年4月 東京都世田谷区・多摩川

浦安市境川の桜

4月の休日にJR新浦安駅周辺を歩いてみました。液状化など地震の被害がまだ各所でみられて、復旧途上でした。市内を流れる境川沿いの桜はみごとに花開いていました。早い復旧を祈念しています。



撮影◎佐合純造

2011年4月 千葉県浦安市・境川



撮影◎佐合純造

2011年4月 千葉県浦安市・境川

桜と鬼怒の水辺：釣人と日光の山々



撮影◎前村良雄

2011年4月 鬼怒川

富士山の流れをくむ潤井川と桜堤

富士山からの水の流れは潤井川によって田子の浦港へ下って行きます。さながら生き物のような、ダイナミックな水の循環が見られます。このすぐ上流には龍巖淵という、富士山溶岩の岩盤の露頭が見られます。



撮影◎加藤晴敏

2011 年 4 月 静岡県富士市・潤井川



撮影◎丹内道哉

2011 年 5 月 北海道札幌市・豊平川

春の訪れ

春といっても肌寒い日が続く 5 月中旬ですが、満開の桜を見ようと多くの人たちが訪れていました。数百本の桜が咲く風景は圧巻です。雪捨て場に活用した高水敷は、そろそろ雪がなくなりそうです。

遠賀川に春が来た！

遠賀川水辺館の屋上「空のフロア」から撮影したもので、河川敷にはチューリップと菜の花、導流堤には桜が咲き誇り、水辺が人々を歩きかう春の風景です。

毎年「のおがたチューリップフェア」が河川敷で開催され、期間中には 10 万人もの人々が訪れます。

花と人で溢れる春の遠賀川に出かけてみてはいかがでしょうか？



撮影◎坂本貴啓

2011 年 4 月 福岡県直方市・遠賀川

礫河原ごしの桜

この日は、外来種シナダレスズメガヤの駆除と礫河原特有のカワラハハコの種子散布を行いました。

地元で活動されている方々の思いと、鬼怒川らしい姿が続いていくことを期待します。



撮影◎沼田彩友美

2011 年 4 月 鬼怒川



撮影◎沼田彩友美

2011 年 4 月 栃木県宇都宮市・田川

田川を飾る桜の灯

宇都宮駅前を流れる田川。かわいい枝垂れ桜が謙虚に田川沿いを飾っていました。

市街地を彩るお花見ロード

ちょうど満開の土曜日。石神井川兩岸の散策路には、桜を見上げながら散歩を楽しむ多くの人が見られました。

板橋区付近の石神井川は、住宅地が密集しており、コンクリートの深い三面護岸が続いています。その風景を桃色一色に色づける桜がとても対象的で、この時期限定の自然がプラスする価値を感じることができました。



撮影◎沼田彩友美

2011 年 4 月 東京都板橋区・石神井川

おわりに

本年は、2月の早咲き河津桜から5月の北海道の桜まで、皆様より素敵な写真をご応募頂きまして、誠にありがとうございました。桜のある水辺風景写真を通じ、水辺の魅力や日本の素晴らしさを再発見することができました。

来年（2012年）も本企画を予定しておりますので、皆様から多数のご応募をお待ちしております。

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生に関わる事例・経験・活動・人材等を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい水辺再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に2006年11月に設立されました。また、日中韓を中心に活動する「アジア河川・流域再生ネットワーク（ARRN）」の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、同時にアジアの素晴らしい取組みを日本国内に還元する役割を担います。

<http://www.a-rr.net/jp/>

○応募作品のお取扱いについて：

今後、ご応募頂きました写真を、JRRNが発行する「手引き」等の冊子やJRRNホームページ等で使用する場合は、使用目的や掲載媒体について予め応募者にご連絡をさせて頂き、撮影者了承の上で使用させて頂きます。

桜のある水辺風景 2011 応募写真集

発行日	2011年6月20日
発行	日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）
事務局（連絡先）	〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 新川中央ビル7階 財団法人リバーフロント整備センター内 Tel: 03-6228-3860 Fax: 03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net, URL: http://www.a-rr.net/jp/

JRRNは、「アジア河川・流域再生ネットワーク構築と活用に関する共同研究」の一環として、（財）リバーフロント整備センターと（株）建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。

リバーフロント整備センター
財団法人  Foundation for Riverfront Improvement and Restoration

 **建設技術研究所**
国土文化研究所



日本河川・流域再生ネットワーク